

津別町総合戦略「施策・事業のKPI達成度」

基本目標																	
数値目標	数値目標 実績	施策	目標	R7.3目標値	R3.4現在	年度別実績						備考	実績評価「1」または「2」における今後の方針・計画	該当年度実績評価			
						R6	R5	R4	R3	R2	R1						
基本目標1 「津別町にしごとをつくり安心して働けるようにする、これを支える人材を育て活かす」																	
[1]町内の事業所数を5年後も維持する。 (240事業所)	目標値:240事業 R1経済センサス:259事業	(1)林業・木材加工業の振興による雇用創出	町内の事業所従業者数を維持	従業者数維持	2200人	-						-	-	KPI目標:H28実績2,289人(H30公表) ※下段は参考数値とする計20社を対象とした町独自調査による従業員数。翌年度4月時点の調査値。	-		
		(2)農業や林業等を中心とする地場産業振興による雇用創出及び6次産業化の推進	地場産品の製造・販売や6次産業化に関連する新規雇用増	人数(延べ)	2人	2人							2人	0人		3	
[2]町内の事業所従業者数を5年後も維持する。 (2,200人台)	目標値2,200人台 H28経済センサス:2,289人	(3)福祉関連事業の支援と障がい者と生活困窮者等の働く場の確保	障がい者等の地元での就労機会の拡大(5人増)	就労者数	12人	10人						10人	7人		4		
		(4)地方創生を担う人材・組織のさらなる活躍の推進	インターンシッププログラム等を通じたUJターンによる起業家・就業者・事業継承者の創出	人数(延べ)	10人	0人							0人	-	・UJターンの町内企業の法人登録の推進と「ワークinツバツ」との連携。 ・求人、求職情報を収集し、課題を整理した上で、津別町に適切な対策について検討する。 ・商工会を窓口とした地元企業に対する経営支援等の要望調査。	1	
基本目標2 「津別町への新しいひとの流れをつくる」																	
[1]交流人口、移住者数の増加 (移住定住サポートデスクを通じた転入者5年間で延べ100人)	目標値:延べ100人 延べ人数:11人 R2:11人	(1)都市圏の自治体等との交流活性化による移住促進	移住定住サポートデスクを通じた転入者	人数(延べ)	100人	11人							11人	14人		3	
			観光入込者数の増加(20%増)	入込者数	398,374人	201,055人							201,055人	331,979人	新型コロナウイルスの影響による。	1	
[2]観光入込者数の増加 (5年間で20%増加)	目標値:398,374人(20%増) R2:201,055人(39.4%減)	(2)都市圏の企業のサテライト・オフィス等の誘致促進	新規事業者の増加	事業者数(延べ)	2事業者	3事業者							3事業者	3事業者		5	
			新規事業者の増加に伴う雇用者増	増加人数(延べ)	5人	2人							2人	4人雇用		4	
		(3)移住者・定住者のニーズに合った住宅の確保	空き家バンク経由で成約した物件数	件数(延べ)	50件	15件								15件	15件		4
基本目標3 「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる」																	
[1]5年後(2024年)に合計特殊出生率1.90を目指す。	目標値:1.90 R2:1.50	(1)安心して子育てができる環境の整備	子育て支援施策全般の取組に対する満足度向上(住民満足度調査「おおむね満足」「満足」の割合70%以上)	満足度	70%	-							-	77.2%	R3年度秋調査実施、年度末集計完了予定。	-	
		(2)男女の出会いの場と機会の確保	異業種交流等の自然な男女の出会いの機会創出(町内での上記に係るイベント開催数)	回数(延べ)	20回	0回							0回	-	新型コロナウイルスの影響による。	・オンラインでの交流の機会も広げつつ、コロナ対策を徹底した上で対面での交流の企画も探っていく。	1
[2]子育て環境として津別町を選び、転入する世帯数 (5年間で10組)	目標値:延べ10組 延べ組数:0組 R2:0組	(3)教育環境の充実	津別町内の小中高生の町外・海外研修への参加者数を維持	参加者数	70名/年	0名							0名	81名	新型コロナウイルスの影響による。	-	
			津別高校の入学者数を確保	入学者数	20名/年	11名								11名	23名	・包括連携協定締結先大学院の学生を主体とする課外活動団体との高大連携事業を継続して展開し、まちづくりへの参画やキャリアパスの構想、津別町の未来を自分事として想像する中で力を身に着けられるなど高校の魅力向上を図る。	2
		(4)誰もが活躍できる地域社会をつくる	多世代交流拠点・多世代生活拠点の整備件数	件数(延べ)	1件	0件							0件	-	・地域包括システムのさらなる向上・推進のために、若い世代も役割をもって支えあい活動に参加できるよう提案する。 ・高齢者自らも、主体的に社会参加できるよう、身近な地域で社会参加や見守りが行える場の開催を支援する。	2	
基本目標4 「時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する」																	
[1]20代～40代の町民の津別町全体に対する満足度の向上 (全体平均60%を目指す)	目標値:60% R1満足度調査:62%	(1)まちなか居住の推進によるコンパクトなまちづくり	5年後(2025年)のまちなか地区の人口3,000人維持(4.30現在の数値)	まちなか地区の人口	3,000人	2815人								2,815人	2,917人	・まちなか再生事業として、議会特別委員会や市街地総合再生基本計画推進協議会と合意形成を図りながら事業を進めていき、生活環境・機能の向上を図る。	1
[2]町外から町内事業所に通勤する従業員の割合 (5年間で5%減少)	目標値:47.5% R2:53.0%	(2)小学校跡地等の活用による小さな拠点の整備	基本目標1の(1)の再掲のため省略														
[3]周辺地区を小さな拠点として整備する。 (令和6年度末までに3箇所の小学校跡地等を利活用)	目標値:3箇所 R2:1箇所(恩根小学校)	(3)高齢者や障がい者等が安心して生活できる環境の整備	基本目標1の(3)の再掲のため省略														

※KPI評価: [-]実績なし。隔年調査や事業に係る準備段階等で実績がない。  
 [1]大幅な改善が必要。現状のままでは確実に目標達成できない。  
 [2]一部改善が必要。今後の取組次第で目標達成を見込める。  
 [3]概ね順調。目標年には達成が見込める。  
 [4]順調。目標年までの達成が見込める。  
 [5]達成済み。すでに目標値に達成し、期待以上の実績がある。